

令和 5 年 4 月 14 日現在

機関番号：82512

研究種目：基盤研究(C)（特設分野研究）

研究期間：2018～2022

課題番号：17KT0121

研究課題名（和文）気候変動、災害、食品安全、伝染病から見る「グローバル・イシューの安全保障論」

研究課題名（英文）Security Studies on Global Issues: Climate Change, Disasters, Food Security and Infectious Diseases

研究代表者

チェン ファンティン（CHENG, FANGTING）

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター法・制度研究グループ・研究員

研究者番号：50735371

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、「気候変動」、「災害」、「食品安全」、「伝染病」という四つの事例を通じ、グローバル・イシュー安全保障論の分析枠組みを構築し、従来の安全保障学的な観点に立ちながら多分野・多視点な学際的分析を実施した。リスクの主体と客体の関連性を領域横断的に明確化することで一定の研究成果を挙げた。

具体的に、気候変動・脱炭素、再生可能エネルギーへのトランジション、災害対応、新型コロナウイルス感染症対策などに関する文献レビューと事例研究を中心に調査を進めて、査読付き国際ジャーナルでの論文発表や、ウェブ公開記事の寄稿と、オンライン・セミナーでの講演を行うなど、研究成果を対外的に積極的に発信した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は安全保障学の視点から、国境を越えた四つの課題、すなわち気候変動・脱炭素、災害、感染症（COVID-19）と食品安全に関するリスク評価、リスク管理とガバナンスについて、代表的なケースを中心に検証した。それぞれの事例においては従来の視点、例えば戦争、大國間対立などに立ちながらも、多分野かつ学際的分析（国際関係学、環境学、経済学、社会学、サステナビリティ学など）を実施し、今まで不十分であった分析枠組への補完に貢献した。また学術論文やウェブ記事、オンラインセミナーへの登壇などを通じて研究成果を積極的に発信し、国内外の読者と視聴者との交流を経て実務的な観点も取入れ、研究成果を精緻化した。

研究成果の概要（英文）：This study constructs an analytical framework for global issue security through four cases: climate change, disasters, food safety, and infectious diseases. We conducted multidisciplinary analysis from the perspective of conventional security studies, and we have achieved certain research results by clarifying the relationship between the subject of risk and the object in a cross-disciplinary manner. Specifically, we conducted surveys focusing on literature reviews and case studies on climate change and decarbonization, transition to renewable energy, disaster response, and countermeasures against new coronavirus infections. Also, we actively disseminated our research results to the outside world, such as publishing papers in peer-reviewed international journals, contributing articles published on the web, and giving lectures at online seminars.

研究分野：国際関係論

キーワード：グローバル・ガバナンス 安全保障学 気候変動 災害 新型コロナウイルス感染症 食品安全 米中関係 脱炭素

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

気候変動などのグローバル・イシューが人類自体やその社会構造にもたらす安全保障上の懸念が高まる中で、これらの問題を安全保障論に基づき包括的に研究した例は十分とは言えない。ここでいうグローバル・イシューは、国境を跨ぐ「越境性」、原因と結果の因果関係が明白ではない「不確実性」、原因の発生から結果の観測まで長い期間を要する「長期性」、原因を改善したがその結果が遅れて発現する「ヒステリシス性」という四つの特性を備えている。これがグローバル・イシューにおいてリスクの主体とリスクを受ける客体が共に不明確となる原因である。

従来の安全保障論的分析視点では、脅威について国家や武装勢力、資源の枯渇、環境破壊など明確な主体を前提とするか、或いは脅威を受ける客体が、国家、企業、人類等、何らかに固定化されていた。そのため、主体が必ずしも明確ではない場合の脅威すなわち「リスク」や、リスクの客体である個人や体制・制度等が複雑に関係し合うグローバル・イシューには対応できていない。本研究は、グローバル・イシューにおけるリスクの主体と客体の間の関連性を領域横断的に分析し、有用性の高い分析枠組みを構築しようとしたものである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、「気候変動」、「災害」、「食品安全」、「伝染病」という四つの事例を通じ、グローバル・イシュー安全保障論の分析枠組みを構築することである。従来の視点では、脅威の主体が明確であるか、或いは脅威を受ける客体が何らかに固定化されていた。そのため、今回着目する四つの事例のように、主体が明確ではない場合の脅威すなわち「リスク」や、リスクを受ける客体が複雑に関係し合うグローバル・イシューには対応できていなかった。また、これらの課題に対しては単一の分野における分析視点では不十分である。本研究は、従来の安全保障学的な観点に立ちながらも多分野・多視点な学際的分析を実施し、リスクの主体と客体の関連性を領域横断的に明確化することで枠組みの構築を目指した。

3. 研究の方法

本研究では、文献サーベイと事例研究を並行させており、各国政府及び国際機関・団体による政策文書や調査報告書や、学術研究成果として発表された論文、専門書などを国内外の政治学、環境学、経済学などに関連する文献データベースを活用しながら、チームメンバーが分担して収集する。一方で、各事例研究のために国内外において現地調査（フィールドワーク）を実施し、現地調査の際には研究協力者を中心とした小規模な研究集会を持ち、最新情報の収集と関係者との意見交換を行った。文献調査と事例研究を通じた仮説の検証と、調査成果に基づく分析枠組みの精緻化、研究成果の執筆、発表を経て、ウェブ記事や国際ジャーナルなどに掲載した。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、文献サーベイを続けていたが、現地調査が極めて限られていた中で、事例研究は文書の分析を中心に感染症について重点的に調査した。更に事例研究については、国内外の研究協力者と連携し記事や分析論文を寄稿したほか、ウェブ会議を通じてヒアリング調査を実施した。その後、調査の結果をオンライン研究会にて共有・検討し、研究代表者・分担者・協力者（連携研究者）が各々の所属学会で研究発表を行い、本研究に対する客観的な批判・コメントを受けた。

出入国に関する水際対策と規制が緩和されてから、現地調査を再開し、国外の研究協力者を中心とした小規模な研究集会を持ち、最新情報の収集、共有、検討と、関係者との意見交換を行った。これまでの文献分析とヒアリング調査、それから事例研究から得られた成果を踏まえ、本研究の仮説を検証し、分析枠組みを精緻化し、査読付き国際学術ジャーナルに論文を掲載した。また、本研究は、研究期間全体を通して、学会や講演会、セミナーなどを通じて成果を積極的に発信し、「グローバル・イシューの安全保障論」について学術的、実務的な観点を提示した。

4. 研究成果

平成30年度（2018年度）

国内の研究チームを中心に研究会を開催し、文献サーベイを踏まえた本研究の分析枠組み・仮

説の導出と研究課題の洗い出しを行った。そのため、文献と事例研究のための予備調査のほか、海外の研究協力者（中国浙江大学）を講師として招き、ヒアリング調査を実施して、その調査結果を整理・分析した。なお、研究代表者（鄭）、研究分担者（大塚）と研究協力者（雷／申請時は連携研究者）を中心に事例研究に向けた予備調査と比較研究に向けた問題点について、研究会の開催などを通じて議論を行いながら課題を明確にしようとした。事例研究については、予備的調査を行ったうえで、国内外の研究協力者とともに国外ヒアリング調査の実施も開始した。その結果については研究会で共有・検討するほか、研究代表者・研究分担者・連携研究者が各々の所属学会で研究発表を行い、本研究に対する客観的な批判・コメントを受けた。

令和元年度（2019年度）

理論的枠組みを構築するために文献レビューのほか、学術及び実務分野の専門家、例えば日本国際協力機構（JICA）田中明彦前理事長へのインタビューを実施した。事例面において、今年度は、主に気候変動と深く関連するエネルギー問題の調査に重点的に進めていた。特に、研究代表者と連携研究者の海外赴任に伴い、アジア・太平洋地域における再生可能エネルギーの推進状況についてウェブの公開記事を寄稿し、一定の研究実績を挙げる事ができた。また、アジア・太平洋・オセアニア地域の環境安全保障、特に気候変動の深刻化から由来しうる紛争についての国際ワークショップに出席し、国際関係・国際政治の視点から発表、コメントし、同分野の世界的研究者と交流する機会が得られた。

令和2年度（2020年度）

文献レビューを実施する以外に、事例面において、主に気候変動、エネルギー・トランジション（エネルギー転換）、COVID-19 感染症対策に関する調査を中心に重点的に進めていた。特に、研究代表者と連携研究者の在外研究に伴い、台湾、アジア・太平洋地域における再生可能エネルギーの推進状況についてウェブの公開記事を数々寄稿し、一定の研究実績を挙げる事ができた。

また、令和2年より新型コロナウイルス感染症が世界的に広がることで、感染症に関する事例研究を進め実績を上げた。例えば、東アジア各国の対策比較をポリシー・ブリーフとして発表した。なお、パンデミックが国際政治、米中関係、兩岸関係、グローバル・ガバナンス、国際レジームなどに与える影響について、国際学会にて研究成果を発表したり、日本国内の視聴者を対象にしたオンラインセミナーにて講師として講演したりした。

令和3年度（2021年度）

前年度に続き、事例面において、エネルギー・トランジション、災害対応、気候変動への適応策、COVID-19 感染症対策に関する調査を中心に重点的に進めた。特に、研究代表者と連携研究者の国外長期駐在に伴い、台湾、アジア・太平洋地域における再生可能エネルギーの推進状況についてウェブの公開記事を数々寄稿し、また、著名な国際ジャーナルに論文を掲載するなど、一定の研究実績を挙げる事ができた。

次いで、新型コロナウイルス感染症がなお広がる中で、感染症に関する事例研究を進め研究成果を積極的に情報発信しつつ、日本国内外の視聴者を対象にした国際学会、講演会やオンラインセミナーにて講師として講演した。最終年度に向けて、学会などでの交流経験と頂いたコメントを活かし、論理的視点の精緻化を図りながら、更なる実績を目指した。

令和4年度（2022年度）

文献レビューを実施したほか、事例面において、主にエネルギー・トランジション、災害対応、気候変動・脱炭素の適応策、COVID-19 感染症対策に関する調査を中心に重点的に進めた。特に、研究代表者及び研究分担者、連携研究者が海外現地調査を再開し、台湾、アジア・太平洋、東南アジア地域における事例の推進状況についてフィールドワークを実施し、ウェブの公開記事を積極的に寄稿した。また、著名な国際ジャーナルに論文を掲載するなど、一定の研究実績を挙げる事ができた。さらに、四つの事例が国際政治、2022年2月に始まったロシア・ウクライナ戦争、米中対立、兩岸関係、グローバル・ガバナンス、国際レジームなどに与えた、もしくは与えられた影響について、国内外の視聴者を対象にしたオンラインセミナーや講演会で講演し、研究成果の発表に取り組んだ。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計42件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 27件）

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 57
2. 論文標題 International Norms, Policy Transfers and Energy Transition: Implications for Taiwan's Development	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Issues & Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S1013251121500144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 67
2. 論文標題 対米外交をにらむ中国の CO2 排出削減の積極政策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 76, 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 (サステナ台湾 環境・エネルギー政策の理想と現実) 第8回 「エネルギー・トランジション」に 立ちはだかる「クリーン・クリーン・コンフリクト」 天然ガス拡大と「藻類礁」問題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IDEスクエア	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 967
2. 論文標題 「カーボン・ニュートラル」に向けた台湾の準備状況	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 台湾情報誌 『交流』	6. 最初と最後の頁 9, 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 779
2. 論文標題 連載 IDE-JETRO x Country Review 中国: 「脱炭素」に向かう取り組みと戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際開発ジャーナル	6. 最初と最後の頁 52, 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 目標13 気候変動に具体的な対策を 「カーボン・ニュートラル」に向けて何ができるのか?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 IDEスクエア	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 806
2. 論文標題 論点-台湾の脱原発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 エネルギーフォーラム	6. 最初と最後の頁 74, 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 30
2. 論文標題 越境的実践がつむぐガバナンス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 1, 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.30.2_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 30
2. 論文標題 中国の環境汚染問題のフィールドにおける越境的協働のダイナミズム	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 59, 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.30.2_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 14
2. 論文標題 新興感染症パンデミックのエコロジカル・リスク・ガバナンス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境経済・政策研究	6. 最初と最後の頁 59, 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14927/reeps.14.1_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Otsuka, Fang-Ting Cheng	4. 巻 35
2. 論文標題 Embryonic forms of private environmental governance in Northeast Asia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Pacific Review	6. 最初と最後の頁 116, 146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09512748.2020.1811372	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 61
2. 論文標題 書評Sophia Kalantzakos, The EU, US and China Tackling Climate Change: Policies and Alliances for the Anthropocene	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 119, 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajikeizai.61.3_119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fang-Ting Cheng, K. Y. Chao	4. 巻 81
2. 論文標題 National Security System Recheck: Comparison of the response of Taiwan South Korea and Japan to COVID-19	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Toda Peace Institute Policy Brief	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 19
2. 論文標題 Policy Diffusion of the Emission Trading Scheme in China: Progress and Prospects	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chinese Business Review	6. 最初と最後の頁 105, 119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17265/1537-1506/2020.04.001	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 N/A
2. 論文標題 サステナ台湾：環境・エネルギー問題の理想と現実 (連載記事)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDEスクエア (オンライン)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 N/A
2. 論文標題 台湾のエネルギー転換 (連載記事)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 958
2. 論文標題 洋上風力発電の開発現状から見た台湾の「エネルギー転換（能源轉型）」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 交流	6. 最初と最後の頁 1, 7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 14
2. 論文標題 新興感染症パンデミックのエコロジカル・リスク・ガバナンス 統合的健康アプローチ「ワン・ヘルス」の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境経済・政策研究	6. 最初と最後の頁 59, 63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 673
2. 論文標題 メコン流域の開発と環境 最近の動向から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 盤谷日本人商工会議所所報	6. 最初と最後の頁 30, 34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「台湾のエネルギー転換政策と乗り越えるべきハードルとは」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Shift（ウェブメディア）	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「台湾の風力発電にける期待と懸念（一）」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「台湾の風力発電にける期待と懸念（二）」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「台湾洋上風力発電がもたらす生態系の懸念と取組み」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「洋上風力発電の「国産化」：期待と挑戦（一）」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「洋上風力発電の「国産化」：期待と挑戦（二）」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Shift (ウェブメディア)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 IDEスクエア・世界を見る眼「サステナ台湾：環境・エネルギー政策の理想と現実」連載第1回「過渡期にある温暖化・エネルギー転換対策」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDEスクエア (ウェブ機関誌)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 IDEスクエア・世界を見る眼「サステナ台湾」連載第2回「温暖化対策・エネルギー転換の政策立案と法整備」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDEスクエア (ウェブ機関誌)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 -
2. 論文標題 「サステナ台湾：環境・エネルギー政策の理想と現実」連載第3回「風力発電の開発状況と懸念」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDEスクエア (ウェブ機関誌)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 -
2. 論文標題 The Transition of Taiwan's Renewable Energy Policies: International Norms and Policy Learning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Otsuka, Fang-Ting Cheng	4. 巻 -
2. 論文標題 New Forms of Regional Governance for Environmental Sustainability Issues in Northeast Asia: Complex Networks of Non-state Actors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 -
2. 論文標題 Seeking the Similarities while Keeping the Differences: The Development of Emissions Trading Schemes in Northeast Asia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 A book chapter of "Diffusion of Public and Private Regulations on Sustainability: Follower Countries' Perspective"	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Zhou, Lingzhi Li, Lei Lei	4. 巻 63
2. 論文標題 Avian influenza, non-tariff measures and the poultry exports of China	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Australian Journal of Agricultural and Resource Economic	6. 最初と最後の頁 72, 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1467-8489.12285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kenji Otsuka	4. 巻 7
2. 論文標題 Shift in China's commitment to regional environmental governance in Northeast Asia?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Contemporary East Asia Studies	6. 最初と最後の頁 16, 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/24761028.2018.1504643	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 2018/10
2. 論文標題 中国NGOの「走出去」が拓く新時代	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IDEスクエア	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 チェン ファンティン	4. 巻 975
2. 論文標題 「2050年ゼロ・エミッション計画及び策略」の発表を受けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 台湾情報誌『交流』	6. 最初と最後の頁 14, 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 -
2. 論文標題 Why Has Taiwan, a Nonparty to the Paris Agreement, Been Proactively Addressing Climate Change?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 IDE Research Columns	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fang-Ting Cheng	4. 巻 14
2. 論文標題 Taiwan Addresses Climate Change: Policy Learning, Formulation and Implementation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 East Asian Policy	6. 最初と最後の頁 38, 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/s17939305220001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu, Xinyue, Li Zhou, Lei Lei	4. 巻 -
2. 論文標題 Contract farming, animal epidemic disease outbreaks, and inclusive growth in rural China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Applied Economics	6. 最初と最後の頁 1, 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00036846.2022.2131716	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lei Lei	4. 巻 887
2. 論文標題 Long-term effects of food safety affairs: an example of Sanlu milk powder incident	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 -
2. 論文標題 メコン流域の越境水資源管理をめぐる対立と協調 2019年干ばつの科学的因果関係のポリティックス (論文集 [書籍] 内論文)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 寺尾忠能編「後発の公共政策」としての資源環境政策 理念・アイデアと社会的合意	6. 最初と最後の頁 23, 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Otsuka	4. 巻 39
2. 論文標題 Co optation in co production: Maintaining credibility and legitimacy in transboundary environmental governance in East Asia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of Policy Research	6. 最初と最後の頁 771, 797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ropr.12497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大塚 健司	4. 巻 14
2. 論文標題 新興感染症パンデミックのエコロジカル・リスク・ガバナンス 統合的健康アプローチ「ワン・ヘルス」の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境経済・政策研究	6. 最初と最後の頁 59, 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14927/reeps.14.1_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計32件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 24件)

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 脱炭素に関する台湾の取組－近年の「エネルギー・トランジション」を中心に
3. 学会等名 日本技術士会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 「気候変動問題を取りまく米中関係の行方と日本の対応－大國間競争の視点を中心に」
3. 学会等名 公益財団法人日本国際フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Considering Global Climate Change Governance under the U.S.-China Rivalry
3. 学会等名 IDE-CIER: Indo-Pacific Political Economy Workshop (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 気候変動ガバナンスと米中関係：「パリ協定」の締結からCOP26の閉幕まで
3. 学会等名 日本国際フォーラム 「自由で開かれたインド太平洋時代のチャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ」研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Learning after Policy Diffusion: The Development of Emissions Trading Schemes in Japan, Korea, and China towards Carbon Neutrality
3. 学会等名 2021 Annual Conference and International Symposium of the Society for Contemporary Japanese Studies (Taiwan) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 排出権取引制度の波及：欧米からアジアへ
3. 学会等名 アジア経済研究所 オンライン講座 「グローバル化時代における環境・食品安全施策の波及：メカニズムと課題」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大塚 健司
2. 発表標題 メコン流域の越境水資源管理をめぐる対立と協調－2019年干ばつの因果関係のポリティックス
3. 学会等名 環境経済・政策学会2021年大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大塚 健司
2. 発表標題 メコン流域における非対称な相互依存関係下でのトランスバウンダリー・コモンズに関する非国家主体によるガバナンス
3. 学会等名 第3回メコン・ダイアログ（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Lei Lei
2. 発表標題 Port rejection dataset and analytical tool
3. 学会等名 UNIDO DTI workshop on Global Quality and Standards Programme（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Lei Lei
2. 発表標題 Healthy and sustainable diets in China
3. 学会等名 World Resources Institute
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 National Security System Recheck: Comparison of the response of Taiwan, South Korea and Japan to COVID-19
3. 学会等名 International Studies Association (ISA 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Seeking the Similarities while Keeping the Differences: The Development of Emissions Trading Schemes in Northeast Asia
3. 学会等名 International Studies Association (ISA 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大塚 健司
2. 発表標題 国境を越えた知とガバナンスのコ・プロダクション 東アジアの地域環境協力の経験からの教訓
3. 学会等名 環境経済・政策学会2020年大会 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Seeking Transboundary Co-production of Knowledge and Governance: Understanding the Complexities in the Mekong River Basin
3. 学会等名 The 2nd Mekong Dialogue (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 State of the art: International peace and conflict studies on climate change, conflict and security
3. 学会等名 Toda Peace Institute Workshop on Climate Change Security and Conflict (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 'Reality Check' on Regional Strategic Partnership on Climate and Environmental Issues
3. 学会等名 Toda Peace Institute Workshop on Climate Change Security and Conflict (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Seeking the Similarities while Keeping the Differences: The Development of Emissions Trading Schemes in Northeast Asia
3. 学会等名 International Studies Association (ISA 2020) (Cancelled) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Energy Transition in Taiwan: from the Perspective of Policy Learning
3. 学会等名 International Symposium: Toward the Future Society of Environment, Energy and Economy: Sustainable Development and Energy Transition in East Asia, National Taiwan University, Taipei (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Trans-boundary research on energy transition in East Asia
3. 学会等名 International Symposium: Toward the Future Society of Environment, Energy and Economy: Sustainable Development and Energy Transition in East Asia, National Taiwan University, Taipei (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Building A Transboundary City Platform: Inclusive Energy Transition toward a Sustainable City for the People
3. 学会等名 The 7th Shenzhen International Low Carbon City Forum Shenzhen Workshop for Kyoto, Shenzhen, San Diego Deep Decarbonization Project China Capital Market Institute, Shenzhen (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大塚 健司
2. 発表標題 東アジアにおける地域環境ガバナンスの変容：トランスバウンダリー・ネットワークの発展に注目して
3. 学会等名 環境経済・政策学会2019年大会 福島大学 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Lei Lei
2. 発表標題 Summary of Research in Standards and Agricultural Trade
3. 学会等名 United Nations Industrial Development Organization (UNIDO)/ Trade, Investment, Innovation Department/ Standards and Quality Infrastructure Division Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Lei Lei
2. 発表標題 Standardization in Agricultural Trade and WTO Public Forum
3. 学会等名 Nanjing Forestry University/ College of Economics and Management Seminar Series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 China and the United States' Critical Roles in Tackling Climate Change and Shaping the International Regimes
3. 学会等名 Association of International Relations, Taiwan (R.O.C.) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fang-Ting Cheng
2. 発表標題 Policy Diffusion and the Fragmentation of Environmental Regulations in Asian Countries
3. 学会等名 International Conference of Sustainable Development (ICSD) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lei Lei
2. 発表標題 Effects of Trade Policy on Technological Innovation in Agricultural Markets
3. 学会等名 国際産業連関分析学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Opening remark: Roles of Non-state Actors in Transboundary Network: background, objective and agenda
3. 学会等名 Workshop on Approaches to Address Increasing Complexity of Sustainability Challenges in East Asia: Roles of Non-state Actors in Transboundary Network (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Cross-boundary practices on water governance in China How can we secure 'our water' in and beyond boundaries?
3. 学会等名 Sophia Symposium Global Water Security and the SDGs: Japan's Role at Home and Abroad (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kenji Otsuka
2. 発表標題 Unpacking the Mekong Dialogue and the way forward
3. 学会等名 The Foruth Mekong Dialogue (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 気候変動の国際交渉と米中関係：協力から競争へ
3. 学会等名 アジア経済研究所所オンライン講座 連続オンラインセミナー「途上国の環境問題を多様な分野から理解する」 第1回「脱炭素」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大塚 健司
2. 発表標題 越境水資源管理に関する国際制度のダイナミズム メコン流域の事例
3. 学会等名 アジア経済研究所オンライン講座 連続オンラインセミナー 「途上国の環境問題を多様な分野から理解する」 第3回「環境と国際制度」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 チェン ファンティン
2. 発表標題 「環境と国際制度」：既存の越境環境問題の比較
3. 学会等名 アジア経済研究所オンライン講座 連続オンラインセミナー 「途上国の環境問題を多様な分野から理解する」 第3回「環境と国際制度」
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 Tze-Luen Lin, Fang-Ting Cheng (チャプター分担)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 117
3. 書名 Energy Transition and Energy Democracy in East Asia	

1. 著者名 Kenji Otsuka (チャプター分担)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 117
3. 書名 Energy Transition and Energy Democracy in East Asia	

1. 著者名 チェン ファンティン (チャプター分担)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Edward Elgar	5. 総ページ数 190
3. 書名 The Diffusion of Public and Private Sustainability Regulations	

1. 著者名 大塚 健司 (チャプター分担)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 166
3. 書名 「初期」環境資源政策の形成過程 「後発の公共政策」としての始動	

1. 著者名 大塚 健司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 217
3. 書名 中国水環境問題の協働解決論 : ガバナンスのダイナミズムへの視座	

1. 著者名 大塚 健司 (編著)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 225
3. 書名 Interactive approaches to water governance in Asia	

〔産業財産権〕

〔その他〕

(1) アジア経済研究所IDEスクエア：【コラム】「おしえて！知りたい！途上国とSDGs」
https://www.ide.go.jp/Japanese/IDEsquare/Column/ISQ000015/ISQ000015_015.html
 (2) IDEスクエア：【世界を見る眼】連載記事「サステナ台湾 環境・エネルギー政策の理想と現実」
https://www.ide.go.jp/Japanese/IDEsquare/Eyes/2021/ISQ202120_020.html
 (3) IDE Research Columns
https://www.ide.go.jp/English/ResearchColumns/Columns/2023/cheng_fangting.html
 (4) メコン流域の越境水資源管理をめぐる対立と協調
https://ir.ide.go.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=53681&item_no=1&page_id=39&block_id=158

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大塚 健司 (Otsuka Kenji) (20450489)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター・環境・資源研究グループ・研究グループ長・主任研究員 (82512)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	崔 順姫 (Cui Shun-ji)		
研究協力者	趙 恭岳 (Chao Kung-yueh)		
研究協力者	房 思宏 (Fang Si-hung)		
研究協力者	林 子倫 (Lin Tsu-luen)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ブルーマ マシュー (Brummer Matthew)		
研究協力者	上川 優貴 (Kamikawa Yuki)		
研究協力者	姉川 知史 (Anegawa Tomofumi)		
研究協力者	何 思慎 (Ho Szu-shen)		
研究協力者	孟 渤 (Meng Bo)		
研究協力者	丁 可 (Ding Ke)		
研究協力者	田中 明彦 (Tanaka Akihiko)		
連携研究者	雷 蕾 (Lei Lei) (20749402)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・開発研究センター 企業・産業研究グループ・研究員 (82512)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------